

津島詣でマップ

津島上街道編

津島上街道を歩いてみよう!

名鉄須ヶ口駅(スタート)総距離15.7km(4時間20分)

- 3.3km: 55分-葛目寺観音
- 2.9km: 48分-馬頭観音
- 4.7km: 78分-勝幡城址
- 2.0km: 33分-釜地蔵寺・八幡神社
- 2.8km: 47分-津島神社(ゴール)

(注) マップの右上上での距離、所要時間、所要時間は約3.0kmで設定。



津島上街道は、名古屋と津島を結ぶ街道で、現在は名鉄津島線がこの街道に沿って走っています。古くは中世の鎌倉街道の置津宿と津島を結ぶ道として発達した歴史があり、若き日の織田信長が清須城と津島を何度も往來していた道だと伝えられています。津島上街道沿いには尾張有数の古刹があります。街道を歩いて津島に「詣で」ましょう!

25 津島神社

1460年以上の歴史を誇る津島神社は、「西の八坂神社、東の津島神社」といわれ、全国に3,000余あるといわれる「天王社」の総本社。疫病除け、授福の神である建速須佐之命(たけはやすすのおのみこと)を祀ります。楼門は豊臣秀吉、南門は豊臣秀頼、横山式の建築美を誇る本殿は松平忠吉の妻からの寄贈です。「津島の女王さま」と呼ばれ、多くの人に親しまれています。

尾張津島天王祭

(7月第4土曜日とその翌日の日曜日)

津島が誇る代表的な祭が「尾張津島天王祭」です。600年近くの歴史を持ち、まさに時代絵巻と言わなければならない狂歌・華鬘な祭行事です。平成28年には尾張津島天王祭の車楽行事がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

尾張津島秋まつり

(10月第1日曜日とその前日の土曜日)

約300年前から始まったと言われる、豪華絢爛な山車(だし)が賑やかに繰り出す競演は見る人の心を奪われ、車中(しゃざり)やかかりの奉納は見どころです。また、鉦や太鼓を打ち鳴らす石探祭(いしどりさい)や、神楽や子供獅子などの祭事も行われます。

開扉祭

(おみと、旧暦2月1日)

旧暦2月1日に津島神社で執り行われる700年以上も続く重要な祭礼です。殿で作られた大松明を灯し、神社の楼門をくぐり抜けます。その燃え残りは昔から「霊障」「祟害止」「田の虫除」にご利益があるといわれています。

23 天王川公園

かつて旧天王川の津島湊として栄えていました。今は尾張津島天王祭、藤まつりの会場になります。春の桜、初夏の藤(写真)、スイレン、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々の自然があり、「日本の歴史公園100選」として多くの人に親しまれています。

24 堀田家住宅

江戸中期に建てられた津島を代表する町家建築で国指定重要文化財です。火を通じにくい漆喰や土壁、また火事延焼を防ぐ「うだり」や、漆喰の風入を防ぐ「忍び返し」があります。入館料:一般 300円、小・中学生 100円
開館日:土・日曜日、祝日
※平日(月曜日は休館)については3日前までに5人以上で予約が必要。
開館時間:10時~15時まで

20 本町筋

旧天王川の名残でゆるやかなカーブを描く本町筋には、古い町家、商家などが今もなお残っています。

21 清正公社

戦国武将加藤清正が幼少の頃に住んでいたことに因り、清正を祀る神社が建てられました。

22 道標

津島上街道と下街道の交わるころ。「津島神社参道」と大きな石道標に書かれています。

19 津島市観光交流センター

地方都市に波及した昭和初期の典型的な旅行建築の意匠、装飾が残ります。敷地の奥には土蔵があります。
開館時間:9時~17時
休館日:月曜日(祝日の場合は翌日以降の休日でない日)、年末年始

18 雲居寺

開創約600年になる曹洞宗の寺で、戦国武将徳川平太(一忠)の菩提寺です。小平太は織田信長に仕え、狭間の合戦で今川義元一番槍を付ける重戦を見せました。境内にある羅漢堂には色彩豊かな五百羅漢の像があります。

17 兼平堤

旧天王川の左岸の堤であった場所。応永十年(1403年)津島牛頭天王社(津島神社)の鎌(かぬ)をこの辺りで造ったことから「兼平堤」と呼ぶようになりました。

15 釜地蔵寺、八幡神社

この寺に安置されている「鉄造地蔵菩薩立像」は釜の上に乗っていることから釜地蔵とも呼ばれています。尾張六地蔵のひとつで県の文化財に指定。

16 道標

「熊より西つしま」と標された、美西市と津島市の市境に立つ道標。

14 勝幡城址

織田弾正忠平朝臣信定古城蹟

おすすめスポット

- 津島神社ゆかりの神社
- コンビニ・スーパー
- 喫茶店・飲食店 等店舗
- トイレ

右が北

津島詣でマップ【津島上街道編】

発行:津島市 制作:一般社団法人にぎわい創出機構 OSHI
〒495-0807 愛知県津島市天王通り1丁目21番地 電話 0567-26-5700

この地図は、国土地理院長の承認を得て、徳院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平29済規 第1674号)
※このマップを複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

【津島上街道スタート・ゴール最寄り駅へのアクセス】

【スタート】名鉄 須ヶ口駅へのアクセス
名鉄本線 名鉄名古屋駅から約8分

【ゴール】津島(津島市)最寄り駅名鉄 津島駅へのアクセス
名鉄津島線 名鉄名古屋駅から約22分
名鉄バス 名鉄/スセンターから約50分
名鉄尾西線 名鉄富岡駅から約10分

【コースを歩く前の注意事項】

- ★適切な体調管理と適度な時間帯で散策するよう、各自の責任で安全にお楽しみください。
- ★交通量の多い箇所や道路の幅が狭い箇所があります。車や自転車などにお気をつけて散策をお楽しみください。
- ★散策中のけがや事故などに対して、発行者は一切の責任を負いかねます。
- ★開館・営業日時が設けられているスポットについては事前にご確認の上で散策し、寺社仏閣などの建物内に入る場合は、各自で了承を得てください。

14 勝幡城址、織田弾正忠平朝臣信定古城蹟、勝幡城ジオラマ

勝幡城址は織田信長が生誕したといわれる城のひとつ。築城したのは信長の祖父・信定。現在は、「勝幡城址」と「織田弾正忠平朝臣信定古城蹟」の石碑があります。この地で織田家は豊かになった。織田信長が繁栄の礎を築きました。勝幡城址北口広場には勝幡城の精巧なジオラマ模型が展示されています。

11 蜂須賀城址、蜂須賀小六正勝公邸宅跡

関ヶ原の戦いに参戦した蜂須賀小六正勝が生誕したといわれる蜂須賀城の城址跡があります。その子孫が城主でした。蓮華寺の南には、「蜂須賀小六正勝公邸宅跡」もあります。

13 勝幡神社

この地は元々「蛸畑(しおばた)」を改名して「勝幡」という意で「勝幡」としたと書かれています。この神社は、大塚(勝幡)が有名です。

12 道標

「右なごや左つしま」と標された道標が残っています。

9 五八悪水治水記念碑

排水をめぐり津島上街道を境に上の8ヶ村と下の7ヶ村の争いが絶えなかった江戸時代、清濁代官所に訴えてようやく排水工事が成功し、当時の代官等の功績を称え建てられた碑。

10 蓮華寺

蓮華寺は、空海の開基といわれ、戦国武将蜂須賀小六正勝とその子孫の菩提寺としても知られています。豊後藩や仏蘭など文化財も多彩で、更に自然環境にも恵まれています。

8 法蔵寺

鉄仏としては国内で2番目に古い寛永二年(1230)の造りである「鉄造地蔵菩薩立像」を本尊とする寺院。鉄造地蔵は国の重要文化財で、蜂須賀小六正勝がその鐘杖を持って桶狭間の戦いに出陣した逸話が残っています。

6 お松の方生誕地標柱

織田信長や豊臣秀吉に仕えた初代加賀藩主前田利家の妻「お松の方」の生誕地が美和町七宝町之島にあり、瑞雲寺境内に「お松の方生誕地標柱」が地元有志によって建てられました。

7 福島正則生誕地碑、菊泉院

豊臣秀吉に仕え、豊臣七本槍で知られ、後に清須城、広島城主になった福島正則の生誕地碑や、正則の菩提寺で位牌等が奉納されている菊泉院があります。近くには正則保育園、正則小学校があり、今も地域の誇りとなっています。

5 漆部神社

甚目寺観音の西側に隣接。漆塗りの技術者(漆部)の神社と推定され、室町時代の再建といわれています。長い歴史の中で、八代明神と称された時もありましたが、昭和中期から旧来の漆部神社となりました。

3 大徳院

西暦598年に創建。源頼朝により恵比寿天と大黒天の二尊像が奉納されました。その後、飛騨の名匠の左甚五郎が滞在し、二天像を彫刻して寄進したのが現在の本尊だと伝わっています。境内には「願かけえびす大黒天(写真)」が安置されています。

4 甚目寺観音

江戸時代から尾張四郡首の一つとして尊厳を集めており、見事な南大門など国の重要文化財があり、数多くの寺宝は必見。南大門前の路上には「右つしまみち」の道標があります。毎月12日(10時30分~14時)に「てづくり朝市」が境内で開催されます。

2 萱津神社

全国唯一の「漬物の神様」を祀る神社。4月2日曜日に縁結びと漬物を祈る「餅神祭」が、8月21日に「香の物祭」が開催されます。拝殿の裏手には、良縁に恵まれるといわれる御神木「漬物の神(れんりのさかき)」があります。

1 津島(上)街道道標(新川橋橋詰ポケットパーク)

美濃路(東海道)の宿場~中山道の亀井宿)から新川橋の西あたりで分岐しているのが、これから散策していく「津島上街道」です。新川橋橋詰ポケットパーク内には、「左つしま道」の道標などがあります。

おすすめスポット

- 津島神社ゆかりの神社
- コンビニ・スーパー
- 喫茶店・飲食店 等店舗
- トイレ

右が北